

「いただきます!!」

東松島市立矢本第一中学校 1年 井上美空

いつもどおりの朝。いつもどおりの朝食。それは、ほっかほかで白く輝くお米、みその香りがふわりと香るみそ汁、色どり豊かな、おかず。このような日が、毎日だという私達は、とても幸せだと思います。

現在、私達の暮らしは、自ら米や野菜を作らなくても、スーパーやコンビニなどで、お金があれば、簡単に買って食べています。そこで、私が考えたのは、米や野菜を食べる前に言うあの言葉の意味をしっかりと理解して食べているかということです。

「いただきます」

というこの言葉には、いろいろな意味が込められています。

一つ目は、米や野菜も、人間である私達と同じで、生きていくということです。その貴重な命を、私達が生きるためにいただくのです。

二つ目は、米や野菜を作っている農家の皆さんに感謝の気持ちを忘れないということです。農家の皆さんは、朝早く畑や田んぼへ行き、収穫し、その野菜や米は運ばれ、私達の食卓に並ぶのです。

三つ目は、私達が今、笑顔でご飯を食べられることを「幸せ」に思うことだと思います。

この三つのことを思いながら、「いただきます」を行えばいいと考えました。つまり、私達が、今、笑顔でご飯を食べられるということは、いろいろな生き物・いろいろな人達の支えがあるということなのです。

そもそも、この話をするきっかけは、ある日、晩ご飯を食べる時、父とのちょっとした会話でした。私はお腹が空きすぎて、夢中になってご飯を食べている時に、「いただきます」というあの言葉を忘れてしまいました。そのまま食べていたら、隣にいた父に、

「いただきますという言葉を使うのを忘れてるぞ。」

と言われ、そこで私は初めて気がついたのです。その時、父に、

「いただきますには、いろんな意味があるんだよ。例えば、肉や野菜、米などと言うと、動物や植物も人間である自分達と同じで、命がある。その命を自分達がいただくのだから、きちんとありがとう、という感謝の気持ちをもって言わないといけないんだよ。」

と言われました。その時私は「いただきます」という言葉の意味を初めてきちんと知ることができました。その日以降、きちんと「いただきます」というあいさつをしてからご飯を食べると、なんだかとてもご飯がおいしく感じました。

中学校に入学してからは、小学校の時にはない「部活」が始まり、運動部に入部した私は、体力をたくさんつけないといけません。そこで活躍したのは、お米です。今では、朝・昼・夜と必ず米を食べています。お米は、栄養価が高い食べ物なので、お米の力を借りて私の体は動いているわけです。部活で頑張っている時は、いつもお米パワーはすごいと感じています。

これから先、もっともっとたくさん食べる機会があると思います。その時には、感謝の気持ちを忘れずに「いただきます」を言いたいです。